

## シグマ委員会 FP 核データWG 会合議事録

日 時 昭和59年10月5日 10:00 ~ 17:30  
場 所 原研本部第5会議室  
出席者 錦織(阪大), 飯島, 川合(NAIG), 佐々木(MAPI),  
松延(住原工), 菊池, 中川, 五十嵐(原研)  
配布資料 FP-59-12: 前回議事録(7/6)  
FP-59-13: 共鳴パラメータSWG会合議事録(7/30~8/1)  
FP-59-14: JENDL-2 FP核種の2200m/s値と共鳴積分の  
比較表(中川)  
FP-59-15: 9/14運営委員会への報告資料  
FP-59-16: JENDL-1評価レポートの目次等の抜粋  
FP-59-17: 群定数作成方法(PROF-GROUCH-G/B, ETOX)  
FP-59-18: FP核種の中性子捕獲断面積の新しい測定データ  
FP-59-19: FP Cross Sectionの積分測定値(+微分データ)  
による調整(飯島)

### — 議 事 —

1. 前回議事録の確認
2. 一般報告  
五十嵐, 菊池両氏から核データ研究会準備状況, 運営委員会(9/14)の報告があった。
3. JENDL-2 FP核データライブラリー作成について
  - 9/14の運営委員会での報告(10月一杯かかる見込み: 配布資料FP-59-15)に対し, 10/2にファイル化が終了した旨中川氏から報告があった。
  - FP-59-14に従って, 2200m/s値と共鳴積分の値について, JENDL-2FPとBNL-325等と比較した結果について中川氏から説明があった。共鳴積分でBNL-325データと食い違いの大きなものがあって, 共鳴パラメータの見

直しが必要であると指摘があり，担当で検討することになった。また，ファイル1作成用のデータとして，共鳴パラメータの出典に関するリストを11月末までに中川氏に送ることとした。

#### 4. JENDL-2 FP 評価レポート

- JENDL-2 FP 評価レポート作成の参考としてFP-59-16が配布されたが，当面は，比較図表の作成を優先させることとし，今回の検討からはずした。
- FP-59-18に掲載された測定データのうち一部がNESTOR-2に未格納であり，新しいEXFORデータを要求することにした。
- 共鳴パラメータに関しては，評価方法やデータの内容が核種によって異っていたり，また，実験値との比較表もつけるとなると頁数がかなり多くなりそうなので，その扱い方に関しては，サブWGで検討することとした。

#### 5. Santa Fe 国際会議への発表申込について

- 15分の口頭発表として申込むことにした。
- 発表は，菊池氏を予定するが，論文執筆は，菊池，渡部，飯島，中川，川合の諸氏が協力して行うことになった。
- 12月入ったところで発表申込用 Abstract の素案を作成する。

#### 6. 積分テスト

- FP-59-19に従って，飯島委員からFP断面積の積分測定値や新しい微分データに調整する為の式とそのやり方について説明があった。
- 積分テストSWGを発足させることになり，参加者を募った上，下記のように作業分担を決めた。

JENDL-2 FPの群定数化 : 菊池

$\phi^*$ ，共分散データの内外挿 : 佐々木

積分テストのシステムの整備 : 渡部

群定数調整の定式化 : 錦織

共分散データの作成 : 飯島，川合

全体の調整 : 全員

## 7. 群定数化

- 菊池氏から群定数化する為のシステムとして、PROF-GROUCH-G/Bと ETOXの流れについてFP-59-17に基いて説明があった。
- 共鳴の自己遮蔽因子を必要とするとPROF-GROUCH-G/Bでは非分離共鳴領域のデータが得られないこと、またETOXは原研で未整備であるという問題点がある。
- MINXやNJOYの公開版は、多準位公式の扱い方でJENDLのデータと合わない所がある。その部分を修正したMINX, ETOXがMAPIにあり、その使用の可否についてMAPIで検討する旨佐々木氏から申し出があった為、WGとして依頼することにした。